

令和4年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	19	議席 番号	14	氏名	佐野和彦 議員	1/2
発言項目				要 旨		答弁者
1	耕作放棄地、放置森林及び放置竹林の活用を考える			<p>日本は国土の約70%が森林で、世界の森林率では先進国の中で第3位となっている。また、日本の森林面積のうち人工林が占める割合は約40%もある。これまで数多くの議員が耕作放棄地、放置森林及び放置竹林を問題視してきたが、今もなお増え続けている。行政はこの問題の解決のために動いているが、大きな成果を上げられず現在に至っている。国では森林経営管理法や農地維持のための交付金である中山間地域等直接支払制度により、農地の森林化を進めている例もある。県では富士農林事務所が農地の集約化を進めているが、我が富士宮市は山間地域のため、平地の広大な土地がなく集約の難しさがある。この諸問題について以下伺う。</p> <p>(1) ここまで耕作放棄地が多くなってくると、活用すること自体が難しくなってくると思うが、手入れが行われない農地をどのように活用するか伺う。</p> <p>(2) 農地の集約化はどの程度進んでいるか。また、集約できないところの対策はどのように進めていくのか。</p> <p>(3) 我が富士宮市では、農地維持のための交付金である中山間地域等直接支払制度により農地の森林化を進めることは考えられているのか伺う。</p> <p>(4) ウッドショックと言われ木材価格が高騰している現在、放置された人工林の木について売却を促すことで、整備することにつなげることはできないか。</p> <p>(5) 以前、竹林整備のために竹の破碎機を購入し、富士森林組合で管理している。講習を受けた方に貸出しを行っているが、放置竹林を整備するためには人手が足りず、ボランティアで募っても続かないとも言われている。竹林整備に係る補助金を提案するが検討できないか伺う。</p>		市長 副市長 関係部長
2	市制施行80周年記念イベントと感染対策の今後			<p>我が富士宮市は市制施行80周年を迎え、感染症対策を行いながら記念事業も開催されている。新型コロナウイルス感染症が全国に広まり3年目になるが、医療機関や研究機関からの情報も集約されつつある。今までの対策の見直しを検討しつつ、いかにして社会経済活動を促進していくのかは私たちの責務となっており、これから行われるイベントや催物に大きく影響してくる。また、ウィズコロナという言葉は影を潜めているが、人類史上ウイルスと人が共に生きてきたのは公然の事実であり、これからもそのようになると思うが、新生活様式や新市民サービスをどのように考えていくのか伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスがオミクロン株等に変異し、重症化や死傷者の減少は統計データ上にも表れている。ワクチン接種が任意というならば、ワクチン接種が必要とされる人に力を入れるべきではないかと考える。市民が公平にワクチン接種についての判断ができるように、リスクとベネフィットをもっと明確に伝えるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) これから行われることが期待される御神火まつり、宮おどり、富士宮まつり秋宮及び信長公黄葉まつりをはじめ、多くの祭りがある。全国各地で行われている大きな祭りを見てみると、最近は、かなり通常開催に近い形態になってきている。現状を判断し、富士宮市の勢いを示す大きな岐路になると思うが、考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

発言 順序	19	議席 番号	14	氏名	佐野和彦 議員	2/2
発言項目		要 旨			答弁者	
		<p>(3) 新型コロナウイルス感染症が世の中を席卷してから3年目に突入したが、各地でイベントや催し物も行われている。屋外での活動であることと、感染症対策を講じた上であれば、富士登山の計画をしてもよい時期だと思う。市制施行80周年を機に、親子富士登山の復活を考えられないか見通しを伺う。</p> <p>(4) 市民提案型のイベントを募り、開催することはできないか。</p> <p>(5) コンビニエンスストアで証明書の交付を受けられるようになったのは、感染症対策のためにとっても有効と考えられるが、今後、発行できる証明書の種類を増やせば、窓口の負担軽減にもつながると思うがいかがか。</p>				